

# スキップ

No.10

2010年9月2日

J R 東海労働組合

秋の闘いシリーズ②

**組合：新幹線の車掌行路で出先地において、労働外時間が泊地を除いて3時間以上発生するような行路作成は見直すこと**

**会社：行路は列車ダイヤを前提に就業規則乗務割作成基準に基づいて合理的に作成する**

**こういう回答を杓子定規というのだ！**

協約・協定改訂の交渉が、本格的に始まりました。この秋の闘いは、職場の生の声を会社にぶつける良い機会です。JR東海労は、141項目の要求を掲げ交渉しています。

さて、新幹線の車掌行路には「3時間コース」と呼ばれる行路がいくつかあります。朝早く東京や大阪に出勤し、出先地で労働外時間が3時間以上ある行路のことです。出先地の到着時刻から帰る列車の乗り継ぎ時刻で見れば、4時間を超える行路もあります。

「3時間あれば大阪に（東京に）帰れるじゃないか」「病院みたいな椅子で疲れが取れない」「出先にいくらいても一銭にもならない」。これが現場の声です。列車の組み合わせを変えれば、出勤時刻を遅くしたり、退出時刻を早くできます。いくら出先にいても、乗務手当は日当で決まっていますから、拘束時間は短い方がよいのは当たり前ですね。

この要求は9月8日に議論する予定です。会社がどのような主張をするのか、乞うご期待です。

**会社は現場の声を真摯に受け止めて議論せよ！**